

静岡新聞

平成 27 年 (2015 年) 9 月 7 日 (月) 掲載

東京都市大を 静岡で P R

元セコム社長が講演

東京都市大を県内で紹介し、交流する「東京都市大学フェア in 静岡」超える、つながる、その夢に」(同大主催)が5日、静岡市葵区のホテルで開かれた。同大前身の武蔵工業大の卒業生で、幼少時を県内で過ごしたセコム元社長の原口兼正氏が「2度の大震災の経験を通じたBCP(事業継続計画)とセキュリテイ」と題して講演した。

原口氏は阪神淡路大震災と東日本大震災の

発生後、現地入りして教訓として得た従業員支援の要点を説明。食料確保は乾パンなど非常食3日分に加え、その後に料理をするためのカセットコンロや真空パックに入った「おいしいもの」が有効と語り、停電時の明かりは本能的にろうそくを使う傾向があるとして、「使うなら安全なろうそくを」と助言した。

同社は「顧客を守るために社員を守る」という視点で災害発生時は第一に社員と家族の安否確認をすること、ガソリンは日頃から満タンにしておくことなどを紹介した。

●この記事は、静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

超える、つながる、その夢に。

 **東京都市大学**
TOKYO CITY UNIVERSITY
SINCE 1929